

[省令第8条の4の5（1,000トン以上排出事業者用）]

様式第2号の8（第8条の4の5関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画書	
令和6年6月30日	
(宛先) 長野市長	殿
提出者	
住 所	新潟県新潟市中央区4丁目5番15号
氏 名	株式会社加賀田組 新潟支店
	執行役員支店長 八雲 淳一
(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)	
電話番号	025-247-8185
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	株式会社加賀田組 新潟支店
事業場の所在地	新潟県新潟市中央区万代4丁目5番15号
計画期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	総合工事業
② 事業の規模	元請完成工事高 201億円
③ 従業員数	245人
④ 産業廃棄物の一連の処理工程	廃プラスチック 再生処理業者へ委託→再資源化 最終処分業者へ委託 埋立処分 木くず 再生処理業者へ委託→再資源化 中間処理業者へ委託→焼却 金属くず 再生処理業者へ委託→再資源化 コンクリートくず 再生処理業者へ委託→再資源化 最終処分業者へ委託→埋立処分 がれき類 再生処理業者へ委託→再資源化 混合廃棄物 中間処理業者→分別、再資源化 最終処分業者へ委託→埋立処分

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項	
(管理体制図)	
安全品質環境室 → 施工部 → 作業所	
役割	
安全品質環境室：①廃棄物処理方針の策定②廃棄物管理ルール of 策定③廃棄物処理に関する各種事項の決定、承認、監視	
施工部：①産業廃棄物管理状況の把握と改善策の検討②処理業者、再生利用業者の調査、選定及び管理	
作業所：①廃棄物処理計画の作成②委託契約の締結③産業廃棄物管理票の交付、管理④監督官庁への各種報告⑤関連会社に対する教育、啓発	

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項							
①現状	【前年度（令和 5 年度）実績】						
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック (廃タイヤ、発泡)	木くず	がれき類(コンクリがら、廃アス	建設混合廃棄物(安定型、管		
	排 出 量	26.78t	22.55t	1,305.50t	3.95t		
	産業廃棄物の種類						
	排 出 量						
	(これまでに実施した取組) 過大な梱包材は作業所に持ち込まない。						
②計画	【目標】						
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック (廃タイヤ、発泡)	木くず	がれき類(コンクリがら、廃アス	建設混合廃棄物(安定型、管		
	排 出 量	22.70t	19.10t	1,109.60t	3.35t		
	産業廃棄物の種類						
	排 出 量						
	(今後実施する予定の取組) 過大な梱包材は作業所に持ち込まない。材料ロスを削減することに注力する。						

産業廃棄物の分別に関する事項	
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 廃プラスチック、木くず、金属くず、コンクリート殻、アスファルト殻の分別を実施。 混合廃棄物の削減を目指す。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 廃プラスチック、木くず、金属くず、コンクリート殻、アスファルト殻の分別を実施。 混合廃棄物の削減を目指す。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和 5年度）実績】						
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック (廃タイヤ、発泡)	木くず	がれき類(コンクリがら、廃アス)	建設混合廃棄物(安定型、管理)		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量						
	産業廃棄物の種類						
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量						
	(これまでに実施した取組) 実施していない						
②計画	【目標】						
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック (廃タイヤ、発泡)	木くず	がれき類(コンクリがら、廃アス)	建設混合廃棄物(安定型、管理)		
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量						
	産業廃棄物の種類						
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量						
	(今後実施する予定の取組) 予定なし						

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和 5年度）実績】						
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック (廃タイヤ、発泡)	木くず	がれき類(コンクリがら、廃アス)	建設混合廃棄物(安定型、管理)		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量						
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量						
	産業廃棄物の種類						
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量						
②計画	【目標】						
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック (廃タイヤ、発泡)	木くず	がれき類(コンクリがら、廃アス)	建設混合廃棄物(安定型、管理)		
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量						
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量						
	産業廃棄物の種類						
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量						
(今後実施する予定の取組) 予定なし							

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和 5年度）実績】						
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック (廃タイヤ、発泡)	木くず	がれき類(コンクリがら、廃アス	建設混合廃棄物 (安定型、管理		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量						
	産業廃棄物の種類						
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量						
	(これまでに実施した取組) 実施していない						
②計画	【目標】						
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック (廃タイヤ、発泡)	木くず	がれき類(コンクリがら、廃アス	建設混合廃棄物 (安定型、管理		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量						
	産業廃棄物の種類						
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量						
	(今後実施する予定の取組) 予定なし						

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

【前年度（令和 5 年度）実績】						
①現状	産業廃棄物の種類	廃プラスチック (廃タイヤ、発泡スチロール等)	木くず	がれき類(コンクリがら、廃アスファルト、レンガ)	建設混合廃棄物 (安定型、管理型)	
	全処理委託量	26.78t	22.55t	1,305.50t	3.95t	
	優良認定処理業者への 処理委託量					
	再生利用業者への 処理委託量					
	認定熱回収業者への 処理委託量					
	認定熱回収業者以外の熱回収を 行う業者へ処理委託量					
	産業廃棄物の種類					
	全処理委託量					
	優良認定処理業者への 処理委託量					
	再生利用業者への 処理委託量					
	認定熱回収業者への 処理委託量					
	認定熱回収業者以外の熱回収を 行う業者へ処理委託量					
	（これまでに実施した取組） 産業廃棄物を委託できる業者を選定し、書面による契約を締結している。					

【目標】						
産業廃棄物の種類	廃プラスチック (廃タイヤ、発泡 スチロール含)	木くず	がれき類(コンク リがら、廃アス ファルト、レンガ	建設混合廃棄 物(安定型、管 理型)		
全処理委託量	22.70t	19.10t	1,109.60t	3.35t		
優良認定処理業者への処理委託量	13.62t	11.46t	665.76t	2.01t		
再生利用業者への処理委託量						
認定熱回収業者への処理委託量						
認定熱回収業者以外の熱回収を 行う業者へ処理委託量						
産業廃棄物の種類						
全処理委託量						
優良認定処理業者への処理委託量						
再生利用業者への処理委託量						
認定熱回収業者への処理委託量						
認定熱回収業者以外の熱回収を 行う業者へ処理委託量						
(今後実施する予定の取組) 各作業所で建設産業廃棄物の発生抑制に努める。 優良認定処理業者への委託を積極的に進める。						

②計画

※事務処理欄

(第6面)

備 考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が12以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。
また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

産業廃棄物処理計画書（産業廃棄物の実績及び計画の量）

処 理 事 項		産 業 廃 棄 物 の 種 類（実績値・計画値）												合 計
		廃プラスチック(廃タイヤ、発泡スチ)	木くず	がれき類(コンクリがら、廃アスファ)	建設混合廃棄物(安定型、管埋型)									
排出抑制に関する事項	前年度排出量(実績)	26.78t	22.55t	1,305.50t	3.95t									1,358.78t
	本年度排出量(計画)	22.70t	19.10t	1,109.60t	3.35t									1,154.75t
自ら行う(行った)再生利用に関する事項	前年度実績													
	本年度計画(目標)													
自ら行う(行った)中間処理に関する事項	自ら行う(行った)熱回収の量	前年度実績												
		本年度計画(目標)												
	自ら中間処理により減量する(した)量	前年度実績												
		本年度計画(目標)												
自ら行う(行った)埋立処分又は海洋投入処分に関する事項	前年度実績													
	本年度計画(目標)													
処理の委託に関する事項	全処理委託量	前年度実績	26.78t	22.55t	1,305.50t	3.95t								1,358.78t
		本年度計画(目標)	22.70t	19.10t	1,109.60t	3.35t								1,154.75t
	優良認定処理業者への処理委託量	前年度実績												
		本年度計画(目標)	13.62t	11.46t	665.76t	2.01t								692.85t
	再生利用業者への処理委託量	前年度実績												
		本年度計画(目標)												
	認定熱回収業者への処理委託量	前年度実績												
		本年度計画(目標)												
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	前年度実績												
		本年度計画(目標)												

【記載方法】

- ・ 各産業廃棄物の種類ごとに該当の箇所の上段に前年度の実績（現状）を、下段に本年度の目標（計画）の産業廃棄物の量を記載してください。
- ・ 「自ら行う再生利用に関する事項」の欄は、自ら直接再生利用した量と中間処理した後再生利用した量を記載してください。
- ・ 「自ら行う埋立処分又は海洋投入処分に関する事項」は、自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量と自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量を記載してください。
- ・ 「処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量及びそれぞれの内訳を記載してください。